

Exhibitor ▶ 岡本工作機械製作所

CNC超精密門形平面研削盤 UPG-CHLiシリーズ



Product information

重量ワークの超精密研削・測定を実現

「UPG-CHLiシリーズ」は最大で3000×1000mmのチャックサイズをラインアップに持つ平面研削盤シリーズ。従来、同サイズの機械はコラム型の構造が多く採用されてきたが、岡本工作機械製作所は2010年、同サイズの市場に門形構造の平面研削盤を市場投入した。

門形構造の特徴は①オペレーターと

ワーク、操作盤の接近性が高く操作性に優れること②砥石頭の剛性が高く高能率研削に向くこと③従来の専有面積と同等の面積で機械を据え付けられること——の3つ。門形構造ではクロスレールのたわみの調整が避けられないが、同シリーズではクロスレールを取り外さずにたわみを補正できる特許取得の独自技術を

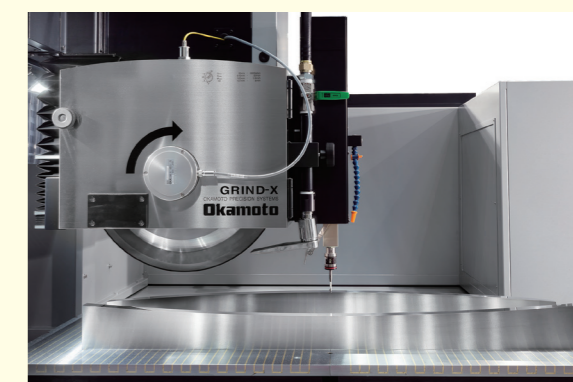
取り入れた。納入後も長きにわたり、高い精度を維持できる。

各軸には静圧スライドとリニアモーター駆動を採用し、最高クラスの研削加工を実現する。机上測定と自動補正が簡単にできるソフトウェアも用意し、自動化にも対応する。ユーザーを支援するオプションも豊富だ。

Highlight 製品の「見どころ」

01 究極の平面創成に挑戦

静圧スライドとリニアモーター駆動を各軸に採用し、長寿命や超精密、高剛性、高い位置決め精度を実現した。摺(しゅう)動面と駆動部を非接触にし、非常に高い精度が求められるモーターコア用の金型や露光装置用のTダイ、大型の脆(ぜい)性材などの究極の平面創成加工に力を発揮する。



02 机上測定で加工時間も大幅短縮

自動化を進めるには、超精密の測定技術が求められる。これに対し、新たに特許申請をした「MAP研削システム」で研削の自動化と加工時間の短縮を実現。また、研削盤の机上で簡単に測定ができる「OKAMOTO NCゲージ」も搭載した。これまで測定が難しかった大型ワークに対し、オンマシンでの測定や超精密研削を、生産性の向上と合わせて提案する。

担当者が語る「導入効果」



カスタマーサービス本部 部長
土屋 兎児 氏

テスト加工をお待ちしています

群馬県安中市の当社・安中工場に設けた恒温室のショールームには平面研削盤や成形研削盤、円筒研削盤、内面研削盤などの最新の研削盤があり、皆さまのテスト加工の依頼もお待ちしています。もちろんUPG-CHLiシリーズも設備し、操作性を確認しながら引き合いを進められます。遠方でショールームに来られない方には、ウェブを使った提案もしていますので、お近くの営業担当までご相談ください。

仕様	制御軸数	3軸
	チャックサイズ	最大3,000×1,000mm(要相談)
	砥石サイズ	φ510×50(OP100)×φ127mm
	ワーク最大質量	3,200kg
	砥石軸モーター	15(OP22)kW
	最小設定単位	0.0001mm

Okamoto

株式会社岡本工作機械製作所

〒379-0135

群馬県安中市郷原2993

☎ 027-385-5800

✉ info-grinding@okamoto.co.jp

www.okamoto.co.jp

